2017年度ワークライフバランスセミナーの開催について

開催概要

ワークライフバランスセミナー
～女性技術系職員である私の未来を考えるための研修～

開催日	平成30年3月19日（月）
場所	国立大学法人名古屋工業大学　4号館
スケジュール	11時00分～12時00分：特別講演「女性と家事・育児と仕事」　神保睦子大同大学長 13時00分～15時30分：女性技術系職員のための研修
対象	特別講演：どなたでも 女性技術系職員のための研修：女性技術系職員
参加費	無料（要申込）
申込締切日	平成30年2月16日（金）
申込フォーム	ワークライフバランスセミナー　申し込みページ
研修詳細	小グループでメンバー交代をしながら、過去・現在・未来についてディスカッションを行います。話し合うことで、翌日からより前向きに業務に携われるようなヒントを得ていただきたいと考えています。 **＜ディスカッションのテーマ＞** １（過去）これまでに困ったことはなんですか？それをどう乗り越えましたか？ ２（現在）ワークライフバランスをとるために工夫していることは何ですか？ ３（未来）5年後、どんな自分になっていたいですか？そのために今やっていること、これからやろうとしていることは何ですか？
託児	あり（原則0歳から小学生の健康なお子様）
主催	名古屋工業大学　技術部
共催	名古屋工業大学　ダイバーシティ推進センター
お問い合せ	wlbseminar(at)adm.nitech.ac.jp (at)を@に変更してメールしてください

参加者数

- 特別講演：100名（学外27名、学内73名）
- 研修：22名（学外22名、学内8名、オブザーバー参加2名）

研修プログラム

女性技術系職員である私の未来を考える研修

日　　時 ： 平成30年3月19日 13:00−15:30
会　　場 ： 名古屋工業大学　4号館 2階 会議室3
主　　催 ： 名古屋工業大学　技術部
共　　催 ： 名古屋工業大学　ダイバーシティ推進センター

ワークライフバランス・働き方改革・女性活躍推進・・・などのことばをあちこちで見聞きするようになりました。これらを皆さんはどのように受け止めていますか?働き方や将来像について誰かと話し合う機会を持っていますか?一人で考えられることには限界がありますが、みんなで集まれば新しいアイデアに触れることができるかもしれません。まずは女性技術職員同士でそのような機会を作りたいと考えて研修を立ち上げました。

実施にあたっては、明日からより前向きに進んでいけるような研修を目指して、過去・現在・未来をテーマにディスカッションを行います。何か一つでも明日からの活力となるヒントを得られるような研修を全員で作り上げましょう。

プログラム

13:00【開講挨拶・オリエンテーション】

山本かおり（名古屋工業大学　技術部　計測分析課副課長）

13:15【ディスカッション】

小グループに分かれて、3つのテーマでディスカッションをします。
途中でメンバー交代を行いますので、座席表にしたがってテーブルの移動をお願いします。
テーブル上の大きな紙に事前アンケートの結果を載せてあります。
ここに、ディスカッションで出た意見を書き足していきます。
話し合うことで、翌日から前向きに業務に携われるようなヒントを得ていただきたいと考えています。

テーマ1（過去）

これまでに困ったことは何ですか？それをどう乗り越えましたか？

テーマ2（現在）

ワークライフバランスを取るために工夫していることは何ですか？

テーマ3（未来）

5 年後、どんな自分になっていたいですか？
そのために今やっていること、これからやろうとしていることは何ですか？

14：30【休憩&交流会】

ディスカッションで使用した紙を掲示します。
他のテーブルで出た意見などを見ながらの意見交換、質問などを通して、参加者同士で交流できる時間にしましょう。

15：00【まとめ】

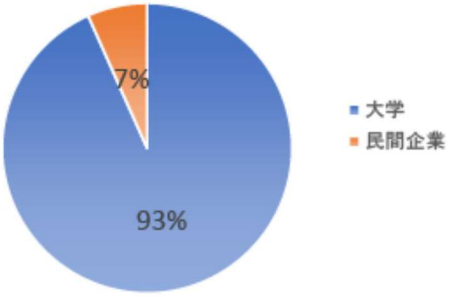
参加者から、今日のセミナーを通して得たこと、感想などを一言ずつ発表していただきます。

15：25【閉講挨拶】

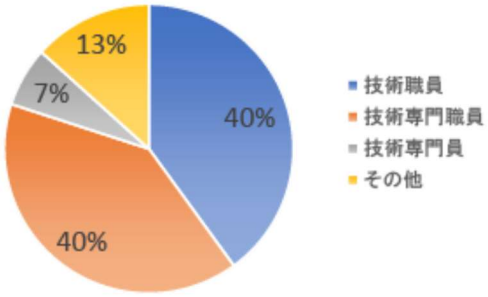
安形保則（名古屋工業大学　技術部　次長）

事後アンケート結果

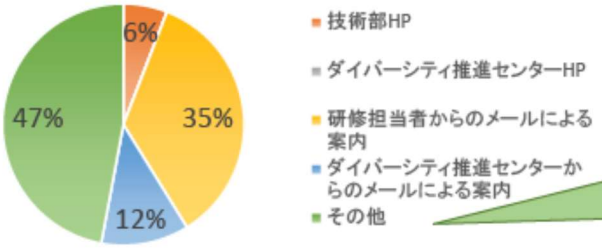
Q1　所属



Q2　職位

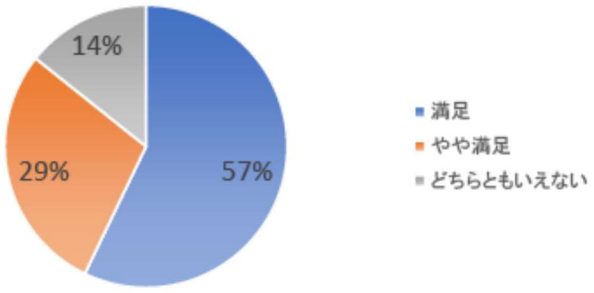


Q3　本研修の情報をどこでお知りになりましたか?

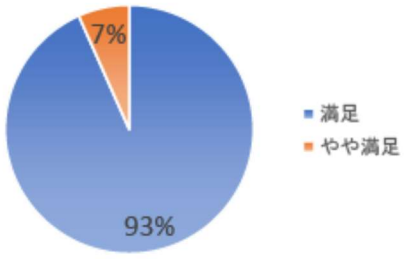


担当者から直接
長岡技科大の機器・分析技術研究会でいただいたポスター
他の職員から聞いた
多分、名東支部
東大工学部技術職員のメーリングリスト
岩手大学の知人からのご紹介
静岡大学内のメール
部門長から
H29年度機器・分析技術研究会にて山本さんからチラシをいただきました

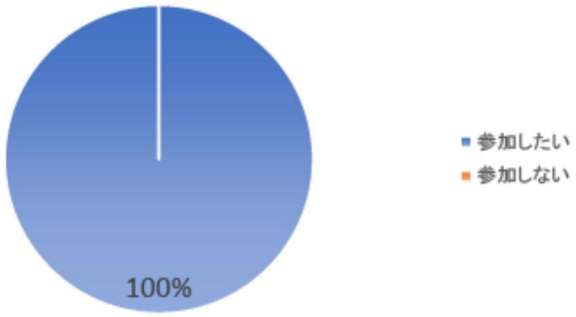
Q4　今回の研修に対する満足度
1)　特別講演「女性と家事・育児と仕事」



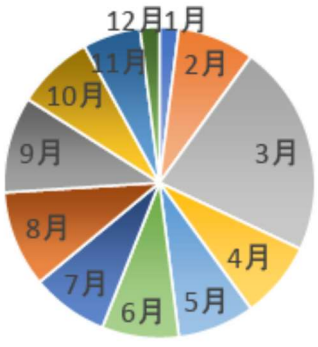
Q4　今回の研修に対する満足度
2) 女性技術系職員である私の未来を考えるための研修



Q5　このような研修があれば、また参加したいと思いますか?



Q5　開催月は何月が適当ですか？



Q6　本研修を終えて、明日から役に立ちそうなことがあればお書きください

- 介護のことを真剣に考える
- 計画を立てて早めに仕事を行う、自分の健康について第一に考えるなど、基本的なことを重く考えるようにすることも大切だと感じた
- 何か一歩でも踏み出すことができそうです
- 今回あげられたテーマについて再度見つめ考え前に進めたと思います

- 話をする場をありがとうございました。声をあげてよいと気づきました。
- 仕事を手際よく終わらせる方法
- 早くに予定を立てる習慣
- それぞれの状況によってワーックライフバランス上でも問題になることは違うことがわかりました。
- 自分からの発信、健康大切
- 本学の技術職員間で情報交換
- 情報共有を行う機会を設ける
- 男女共同参画推進室との太いパイプを築き,技術職員に必要なワーク・ライフ・バランス支援について、大学本部ならびに技術職員自身の意識改革を促す
- 健康管理、TODOリストの作成、ひとりで悩まないこと
- ワーク→自分の仕事に責任を持つのも大事だけど、「誰かが代わりにやってくれる」ということを忘れずに思いつめないようにする。そのためにも職員同士で仕事内容を把握し合いたい。具体的には「週報」がいいなと思いました。
- ライフ→走る
- 自分の大学の制度の見直し
- TODOリストとか作ってみる
- 人に頼る
- 同じような悩みをかかえた方の意見を聞けてよかった。
- 育児や介護をかかえながらがんばっているみなさんのお話が聞けてよかったです。私はそれらで困っていないのでもっと前向きに頑張りたいです。
- 午後のディスカッションで初めて他の方の状況やワークライフバランスを取るために工夫されていることを知ることができ良かったです。何事も前向きに楽しくやることが大事だなと感じました。
- スキルアップの方法や手段など、参考になりました。他大学の制度などもわかり、今後、大学に戻ってから制度改善へ働きかけるのに参考になりました。

Q7　本研修に対して、ご意見・ご要望があればお書きください

- ありがとうございました
- 本研修の開催にあたり、たくさんの準備、計画、感謝いたします
- 第２回３回を希望します。
- また皆さんとお会いできれば幸いです
- ぜひ第２回も開催していただきたいです。ありがとうございました。
- 進行がとても良かったです。ありがとうございました。
- 今回このような会を企画していただきありがとうございました。今後またこのような企画があればと思います。（東大工学部ではできそうになく申し訳ありません）参加者がもう少し増えるといいのかな・・・とも思います。（運営側は大変ですが）
- 大変勉強になりました、第２弾を楽しみにしています。これからも密に情報交換させてください！！
- 貴重な機会をありがとうございました。次回も楽しみにしています。
- 初めての研修参加で本当にいろんな大学の現状などを知ることができて視野が広がりました。ありがとうございました。また、次回も宜しくお願いします。
- 研修実施ありがとうございました。有意義で楽しかったです。

- 本研修の準備から託児までいろいろとありがとうございました。またお声がけいただき、参加できてとても良かったです。
- 昼食会を経ての研修はスムーズにコミュニケーションをとることができとてもよかったです。
- ありがとうございました。